

## 木材建材ハンドブックの訂正について

ご購入いただきました木材・建材ハンドブックに誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに以下の通り訂正いたします。

■ 187ページ「あて材」以下の解説に修正

木材の欠点の一つ。幹や枝を元来の正しい位置に保持しようとするために、その正しい位置が乱された場合に、傾斜あるいはわん曲した幹および枝の部分にできる多少とも特異な解剖学的性質を示す木部（国際木材解剖用語集）。針葉樹の場合は傾斜面の下側に圧縮あて材が、広葉樹の場合は針葉樹と逆に上側に引張あて材ができる。材の一部にあて材があると、反り、狂い、切削面が毛羽立つなどの原因となり、構造材及び家具用材としては敬遠される。

■ 188ページ「蟻継ぎ」→「腰掛け蟻継ぎ」に修正

■ 195ページ「鎌継ぎ」

「受け側の材は腰掛という」を削除

■ 267ページ「接着剤」

「構造用集成材では耐久性に優れるイソシアネート系が」→「構造用集成材では耐久性に優れるレゾルシノール系が」に修正

■ 319ページ 「こ厚生省」→「厚生労働省」に修正